



# 牡幼だより

第11号

【ホームページ】<http://www.botanyama-k.city-niigata.ed.jp>



～うさぎの「みるく」～



あけまして おめでとうございます

年明けは比較的穏やかな日が続いていましたが、3学期初日の今日は一転、横殴りの吹雪の中子どもたちが登園してきました。朝の身支度を済ますと子どもたちは、早速ひもゴマや手回しゴマで遊び始めました。「見ててね。」「こうやってひもを巻くんだよ。」と元気な声が響きました。そんな子どもたちからパワーをもらい、私たち教職員も毎日の教育活動をより一層充実させ、子どもたちの成長を支えていきたいと思えます。3学期も、保護者の皆様のご協力をお願いします。

さて、2023年は卯年です。卯年は芽を出した植物が成長していき茎や葉が大きくなる時期で、目に見えて大きく成長する年だといわれています。そして、子どもたちがかわいがっている幼稚園のアイドル「みるく」の年でもあります。うさぎは跳びはねることから、飛躍するということの象徴でもあります。

卯年にちなんで、うさぎに関する絵本を紹介します。日本最古の本といわれる「古事記」にも描かれているという、神話の一つ『いなばのしろうさぎ』（赤羽末吉 絵 舟崎克彦 文）です。この機会にぜひ手にとってみてください。（ぴよぴよ文庫（黄42）です）



## 『いなばのしろうさぎ』のあらすじ

「八十神」という神様の兄弟がいました。因幡の国（現在の鳥取県）にいる「八上姫」に求婚をしに行くために出雲の国（現在の島根県）を後にしました。その道中、皮をはがされて泣いている兎と出会います。神様たちは面白がって、「海水を浴びて、山の頂上で風に吹かれ寝転んでいれば治る」と言いました。その言葉を信じた兎でしたが、実際にやってみると痛みはひどくなる一方です。

そこへ、ほかの神様たちの荷物を全部持たされていた大国主という神様が遅れてやってきました。泣いている兎を見て理由を聞くと、兎はこう語ります。「隠岐島にいた私は、どうにかしてこの国を出たいと考えていました。しかし自分の力ではどうにも渡ることができません。そこで、サメを騙してこう声をかけたのです。『あなたたちと私たちの種族は、どちらの方が数が多いか数えてみよう。できるだけたくさん仲間を連れて、並んでください』と言いました。そして兎は、ずらっと並んだサメの背中の上を渡って、いざ降りたとうとする時に、『お前たちは騙されたのさ』とからかってしまったのです。するとサメの怒りをかい、皮をはぎ取られてしまいました。その後、泣いているところへやってきた八十神たちの言う通りにしたところ、痛みがひどくなってしまったのです。」この話を聞いた大国主は、兎をかわいそうに思い、「河口に行って真水で体を洗い、蒲の花粉をつけておきなさい」と教えてあげました。兎が大国主の言う通りにすると、体の傷はたちまち癒えていき、元通りになりました。喜んだ兎は「あなたこそが八上姫の婿になるお方です。」と伝えます。

その後、八上姫のもとに八十神たちが着き求婚をしますが、八上姫は「私は大国主さまのみもとに嫁ぐつもりです。」と答えます。そうすると八十神たちはおもしろくありません。大国主の命を奪おうとはかりごとを巡らせます。幾度も命を付け狙われる大国主に母神の刺国若比売は「黄泉の国へお渡りなさい。そこにはご先祖の須佐之男さまがおられます。あなたを守ってくださるでしょう。」と言います。こうして大国主は、黄泉の国へのながく、はらかな旅路をたどるのでした。

# 2023 新年の抱負



職員一同 力を合わせて  
がんばります。  
今年もよろしくお願ひします。



## 「冬休み、楽しかったこと」(始業式で子どもたちが発表しました)

### 【たけ組】

- ゆうと：お母さんのお手伝いをしたことです。お皿を運んだり、お料理のお手伝いをしました。
- すみれ：買い物をしたり、おばあちゃんの家に行ったことが楽しかったです。
- だいき：赤倉に行って、雪遊びをしたことが楽しかったです。（赤倉の）雪はいつもより少なかったです。
- なぎさ：洗濯物をたたんだり、米洗いをしたり、玄関のお掃除をしたり、お手伝いをしたことです。
- みのり：おばあちゃんの家でお蕎麦のお皿の用意したりお料理をしたことです。お皿は6人分です。

### 【きく組】

- ひかる：マリニピアに行っておもちゃを買ったこと。（何を買ったかは）「ないしょ！」
- えま：ママと洗濯干しが楽しかった。
- ゆうな：（幼稚園）サンタさんからもらった「すごろく」が楽しかった。

